

令和2年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【数学】学年【1年】

関 数学への関心・意欲・態度
見 数学的な見方や考え方
技 数学的な技能
知 数量や図形などについての知識・理解

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
10	4章 変化と 対応	□関数関係 □座標 □比例、反比例の 表、式、グラフ □比例、反比例の 利用	関	・いろいろな事象の中から、ともなって変わる数量を見つけようとしたり、表やグラフを使って変化のようすを調べたりしている。	・いろいろな事象の中から、ともなって変わる数量を見つけようとしたり、積極的に表やグラフを使って変化のようすを調べたりしている。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	・2つの数量関係に着目し、変化や対応から比例や反比例の関係を見いだすことができる。 ・比例や反比例の特徴を見いだすことができる。 ・身のまわりの事象を、比例、反比例の見方や考え方を通して考え、問題の解決に利用することができる。	・2つの数量関係に着目し、変化や対応からの確に比例や反比例の関係を見いだすことができる。 ・比例や反比例の特徴やグラフをかく方法を見いだすことができる。 ・身のまわりの事象を、比例、反比例の関係をみつけたり、比例、反比例の見方や考え方を通して考え、問題の解決に利用することができる。	
			技	・ともなって変わる数量の関係を表やグラフに表すことができ、変数xの変域を不等号を使って表すことができる。 ・比例、反比例の関係を式に表すことができる。 ・比例、反比例のグラフをかいたり、グラフから式を求めたりすることができる。 ・身のまわりの事象を比例、反比例の考え方をういて表現したり、処理したりすることができる。	・ともなって変わる数量の関係を表やグラフに適切に表すことができ、変数xの変域を不等号を使って表すことができる。 ・比例、反比例の関係を手際よく式に表すことができる。 ・比例、反比例のグラフを手際よくかいたり、グラフから式を正しく求めたりすることができる。 ・身のまわりの事象を比例、反比例の考え方をういて正しく表現したり、手際よく処理したりすることができる。	
			知	・関数の意味と変域の表し方について理解している。 ・変数、定数、比例、比例定数、変数、座標関連の意味を理解している。 ・比例、反比例のグラフのかきかたや特徴を理解している。 ・比例、反比例の関係が利用できる場面を理解している。	・関数の意味と変域の表し方について十分に理解している。 ・変数、定数、比例、比例定数、変数、座標関連の意味を十分に理解している。 ・比例、反比例のグラフのかきかたや特徴を十分に理解している。 ・比例、反比例の関係が利用できるいろいろな場面を理解している。	
11 ・ 12	5章 平面図形	□角の二等分線、 垂直二等分線、 垂線などの基本 の作図 □平行移動、 対称移動及び 回転移動 □扇形の弧の長さ と 面積	関	・平面図形の性質や考え方、また様々な事象を平面図形としてとらえて数学的に考え表現することに関心を持ち、問題を解決に数学を活用して考えたり判断しようとしたりしている。	・平面図形の性質や考え方、また様々な事象を平面図形としてとらえて数学的に考え表現することに強い関心を持ち、問題を解決に数学を意欲的に活用して考えたり判断しようとしたりしている。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	・角の二等分線などの基本的な作図の方法を活用して、いろいろな作図の方法を見いだすことができる。 ・扇形について、弧の長さが、その中心角の大きさに比例することに着目し、扇形の弧の長さとの面積の求め方を考えることができる。	・角の二等分線などの基本的な作図の方法を進んで活用し、いろいろな作図の方法を見いだすことができ、説明できる。 ・扇形について、弧の長さが、その中心角の大きさに比例することに着目し、扇形の弧の長さとの面積の求め方を進んで考えることができ、説明できる。	
			技	・定規やコンパスを作図の道具として正しく使うことができる。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図ができる。 ・定規やコンパスなどを使って、図形を平行移動したり、対称移動したり、回転移動したりすることができる。 ・扇形の弧の長さとの面積を求めることができる。	・定規やコンパスを作図の道具として正しく手際よく使うことができる。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図でき、それを組み合わせていろいろな作図ができる。 ・ある図形を3つの移動を組み合わせて、いろいろな位置に移動させた図をかくことができる。 ・扇形の弧の長さとの面積を手際よく求めることができる。	
			知	・角の二等分線などの作図の方法を理解している。 ・円の半径と接線との関係、弧や弦の意味を理解している。 ・平行移動、対称移動及び回転移動の意味を理解している。 ・図形を移動したり、移動した図形をかいたりする方法を理解している。 ・扇形の弧の長さとの面積の求め方を理解している。	・角の二等分線などの作図の方法をひし形の対称性と関連づけて理解している。 ・円の半径と接線との関係、弧や弦の意味を十分に理解している。 ・平行移動、対称移動及び回転移動の意味を十分に理解している。 ・図形を移動したり、移動した図形をかいたりする方法を十分に理解し説明できる。 ・扇形の弧の長さとの面積の求め方を十分に理解し説明できる。	

12 ・ 1 ・ 2	6章 空間図形	□空間における直線や平面の位置関係 □立体と空間図形 □立体の表面積と体積	関	・空間図形の構成や表現、また様々な事象を空間図形としてとらえたり求積したりすることに関心を持ち、数学的に表したり、読みとったり、考えたりしようとしている。	・空間図形の構成や表現、また様々な事象を空間図形としてとらえたり求積したりすることに強い関心を持ち、進んで数学的に表したり、読みとったり、考えたりしようとしている。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	・空間における直線や平面の位置関係を考えたり、平行や垂直であるかどうかを確かめることができる。 ・空間図形の構成や組み立てを考えたり、平面上への表し方を用いて空間図形の性質を見いだしたりすることができる。	・空間における直線や平面の位置関係を考えたり、平行や垂直であるかどうかを確かめることができ、説明できる。 ・空間図形の構成や組み立てを考えたり、平面上への表し方を用いて空間図形の性質を見だし、説明できる。	
			技	・位置関係を記号を用いて表したり、読みとったりすることができる。 ・空間図形を、見取図、展開図、投影図を用いて平面上に表したり、読みとったりすることができる。 ・柱体、錐体、球の表面積と体積を求めることができる。	・位置関係を記号を用いて正確に表したり、手際よく読みとったりすることができる。 ・空間図形を、見取図、展開図、投影図を用いて平面上に正確に表したり、手際よく読みとったりすることができる。 ・柱体、錐体、球の表面積と体積を手際よく正確に求めることができる。	
			知	・直線や平面の位置関係にはどのような場合があるかを理解している。 ・直線や平面図形の運動により構成される空間図形や回転体を理解している。 ・見取図、展開図、投影図の意味と表す方法を理解している。 ・柱体、錐体、球の表面積と体積の求め方を理解している。	・直線や平面の位置関係にはどのような場合があるかを十分に理解している。 ・直線や平面図形の運動により構成される空間図形や回転体を十分に理解している。 ・見取図、展開図、投影図の意味と表す方法を十分に理解し、そのよさについて理解している。 ・柱体、錐体、球の表面積と体積の求め方を実験結果と結びつけて理解している。	
2 ・ 3	7章 資料の活用	□度数分布 □代表値とちらばり □累積度数 □調べたことの発表	関	・ヒストグラムや代表値、相対度数、累積度数などを用いて資料の傾向を読みとったり説明することに関心を持ち、資料を収集して整理したり、その傾向をとらえ説明したり、問題の解決に生かそうとしている。	・ヒストグラムや代表値、相対度数、累積度数などを用いて資料の傾向を読みとったり説明することに関心を持ち、資料を収集して整理したり、その傾向をとらえ簡潔・明瞭に説明したり、問題の解決に生かそうとしている。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	・ヒストグラムや代表値、相対度数、累積度数などを基にして、資料の傾向を読みとることができる。 ・問題を解決するために、ヒストグラムや代表値、相対度数などを用いて、資料の傾向をとらえ説明することができる。	・ヒストグラムや代表値、相対度数、累積度数などを基にして、資料の傾向を読みとり説明できる。 ・問題を解決するために、ヒストグラムや代表値、相対度数などを用いて、資料の傾向をとらえ簡潔・明瞭に説明できる。	
			技	・資料をヒストグラムを用いて整理することができる。 ・資料の代表値を求めることができる。 ・資料を相対度数を用いて整理することができる。	・資料をヒストグラムを用いて手際よく整理することができる。 ・資料の代表値を手際よく求めることができる。 ・資料を相対度数を用いて手際よく整理することができる。	
			知	・ヒストグラムや代表値、相対度数、累積度数の必要性和意味及びそれらを用いて、問題を解決する手順を理解している。 ・階級と範囲の意味を理解している。	・ヒストグラムや代表値、相対度数、累積度数の必要性和意味及びそれらを用いて、問題を解決する手順を十分に理解している。 ・階級と範囲の意味を十分に理解している。	